

【 会員投稿 】

紀望館と熊野古道

東條 孝雄

菱の実会総会で配られたパンフレットに、保養所・健康推進活動事業として紀望館に泊まる「世界遺産熊野古道ウォーキング」の案内がありましたね。何年か前、同じようなプログラムに参加して案外面白かったので、おすすめの意味で紹介します。

申込をしてからインターネットで熊野古道を勉強したところ、京都から熊野本宮に至る道を言い、経路はいくつかある。参加のコースは田辺からの中辺路（なかへち）をたどるものだが、滝尻王子から継桜王子までの距離は18.2km、標準所要時間9時間40分、歩いて2日間を要する、その先また熊野本宮まで2日かかるというのです。

これは大変だ、まず登山装備から用意しなければと考え込んだことです。

間もなく郵送された案内を見たところ、朝9時に出発、その日の16時には解散する行程で、どうやら途中はバスが助けてくれるようでした。

前日に15時からヨガ教室があって、これは参加しなくてもよいかと思ったのですが、実は翌日の準備運動になっていることと参加者の健康チェックをしていることがわかりました。そのあと、紀州「語り部」・北本講師から熊野古道の歴史と見どころを習います。

当日は、8時30分出発、滝尻王子でバスを降りて熊野古道館を見学、少しは歩くかと思っただが、ふたたびバス。不寝王子（ねずおうじ）や高原熊野神社の峰を右に見て語り部の説明を聞きながら、道の駅「牛馬童子（ぎゅうばどうじ）ふれあいパーキング」で下車。

ここから、牛馬童子像へ息を切らしながら登って古道の苦行難行を体感、次いで日置川を見下ろしながら近露王子公園まで1.6kmを徒歩で下る。公園で昼食をとりバスで継桜王子へ移動、野中の一方杉と清水を見て、ここから熊野本宮まではバス。

最後に157段の石段を登って熊野本宮参詣を終えました。

紀望館は白浜駅から離れており交通不便な場所ですが、地図で見たところ近くに大きな県立病院「南和歌山医療センター」があるとわかりました。駅から病院までバスで行き、病院前に待っているタクシーを利用して五分程度です。

なお、紀望館から見た夜明け前の熊野山地、山と朝霧の重なる神秘的なすばらしさに感動させられたことも書き添えておきます。

MHK・トピックス

三菱電機ホーム機器（MHK）は、今年10月で創立30周年を迎えました。記念イベントが10月4日（土）深谷市民文化会館に於いて開催され、OB会（菱花会）の会員が招待されました。アトラクションとして「ゆうぞう」によるモノマネ、「テツ and トモ」によるお笑いライブがあり、会場の雰囲気盛り上げました。OB会（菱花会）では、そのあと花園工場に会場を移して、平成26年度の総会が実施されました。

祝 長寿
(喜寿)

森尻 武男 様	太田市台之郷町	77歳(1937/10/11)
寺田 久 様	足利市本城	77歳(1937/10/13)
小林 安男 様	太田市由良町	77歳(1937/10/22)